

令和7年度 第1回安城市特別職報酬等審議会議事録

日 時 令和7年10月22日（水）

午後3時30分から午後4時30分まで

場 所 へきしんギャラクシープラザ（安城市文化センター）
3階 302会議室

出席者（委員） 松田委員以外出席
（事務局）企画部長、総務部長、人事課長

- 1 辞令交付
- 2 市長あいさつ
- 3 会長選出
沓名委員（委員の互選により）
- 4 会長あいさつ
- 5 副会長の指名
杉田委員（会長の指名により）
- 6 諮問
市長から沓名会長へ諮問書が渡される
- 7 議事
特別職の報酬等について

事務局より資料説明。

【沓名会長】

皆様方から意見を伺う前に、説明をいただいた中での質問等がありましたら、まず質問をしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

【松永委員】

市長、副市長、教育長の退職手当は、「月額×支給率」のことでしたが、給料月額のみなのか、地域手当も含むのか教えてください。

【人事課長】

退職金の計算では、地域手当を含まないため給料月額のみとなります。

【加藤委員】

地域手当ですけれども、国は6%、安城市は12%なのですが、これは、市長は12%で、副市長は8%にするとか、そういったことはしないのでしょうか。副市長がお二人いるということが、AI上でいくと1名となっているのですが、2名ですよねということで、ホームページを見ると2名ですけど、AIで調べると1名となっているのですけど、お名前は杉浦さんと横山さんで出ていましたが、AIで見ると横山さんの名前が出ていたんですね。ということで、お二人いるんですね、ということと、地域手当も同等で良いのか、もう少し下げても良いのかと思いました。地域手当を入れると5位だけど、現行だと11位と、全体で見ると、であれば全体を上げて地域手当を低くしても良いのかと思いました。

【人事課長】

副市長につきましては、今2名の体制となっており、杉浦と横山が副市長です。12%という数字も、国では8%で基準が設定されている中で、前回の報酬審議会でも申し上げている内容ではございますが、安城市の地域手当の割合につきましては、刈谷市など近隣で16%と高い水準で地域手当を設定している市もあり、優秀な人材を採用することや職員のモチベーションの維持など政策的な判断で12%にしているという経緯がございます。ですので、今のところ12%を変更するという事ではないのですが、今回の報酬審議会での議論としては、市長の本給を上げて地域手当を下げるという考えもありじゃないかということによろしいでしょうか。

【加藤委員】

財政状況やトヨタ系企業がこれからどうなっていくのかが影響してくるのかなということと、人口も減ってくるということで、どんどん上げていくのが良いのかということも検討材料かなと思いました。

【大塚委員】

今のと関連してなんですが、この地域手当の支給率は先ほど職員の方と同一だと教えていただいたのですけれども、市長の地域手当の支給率と職員の支給率という

のは連動するものなのか、連動しないものなのか、そちらを教えてください。

【人事課長】

一概には、自治体等で連動する、しないというのは異なるところはあるんですけど、安城市としては今のところ市職員と市長の地域手当は連動しているというかたちです。

【大塚委員】

安城市の話をするのであれば、市長の地域手当を下げるのであれば、職員の皆さんの地域手当も下がるという前提で議論をすべきだということですよ。

【沓名会長】

それは難しいような気がしますね。やはり特別報酬審議会で、職員の方は職員で、特別報酬の方は特別報酬ということで、今は職員の人たちのことをやっているわけではないので、特別報酬の対象とする人をやっているの、その関連性というのは、やはりありそうでないような気がしますね。

【人事課長】

会長が言われるとおり、倣ってやっているというところではありますけど、職員と市長の報酬の考え方が別物というところで、今の審議をさせていただいておりますので。この審議をされたから、職員の方が下がるということではないということです。

【大塚委員】

私は下げたいわけではなく、そういった論点が出たと、論点を議論すべきなのかどうかを考える際に、「ここは特別職ですよ」と特別職の話だけとして議論をして良いのか、「職員の皆さんも巻き込まれるんですよ」という前提のもとですべきなのかを確認しないと、我々がここで特別職のことだけを想定して議論した結果、職員の皆さんの給与が下がるなんていうことになったらえらいことですので、そこはきちんとですね、踏まえないと、よろしくないのではないかなという趣旨での質問です。

【沓名会長】

それはよく分かりますね。しかしながら、あくまでも特別報酬審議会はこの話ということで、また職員の人は職員のまた違う査定の方法というのがあるかと思えますので、それをどういうふうに決めてみえるのかお答えできますか。今の職員の方々の給料というのも上がりましたですね。そういったのは、もう既に終わってしまっているんですね。

【人事課長】

職員の方は、人事院勧告をいただいております、そちらも12月議会に提案しまして承認を受ければ。まだ決まってはいないので。

【総務部長】

地域手当の趣旨を考えますと、全国いろいろな地域があつて、それぞれの地域で物価も違うし、生活するのにかかる費用も変わってくるということから地域手当が創設されています。例えば、いまお話にあったように、市長の地域手当を10%ということにした場合、それでやはりその地域は10%だということになると、当然に市の職員にも影響を及ぼします。別かどうかで言うと、条例上は全く別になっていますので、別の議論をしていただくこともできますが、市長の地域手当が10%で、職員が12%というのは、それはおかしな話になってくるので、そこは一体であるものだというように考えております。

【松永委員】

議員や市長、副市長、教育長の役職の報酬について、どういう考え方で設定をされようとしているのか、今回まだ案はご提示されていないのですけれども、その辺をお聞かせいただけますでしょうか。

先に私見を申し上げますと、普通民間ですと、例えば市長さんでいえばその役割に対してその職責をどう全うしてきたか、パフォーマンスが一番の基本にあると思います。市の総合計画の8年のうちの2年目ということですが、やはり子育てみたいなところが一番の柱になっているので、その一番大事な総合計画に対してどんなことをやってきたかみたいなのが、市長さんで言えばパフォーマンスになるかと思います。データをご提供いただいた他市との比較ももちろん大事なことです、そういったパフォーマンスをどう評価して反映するか、そのあたりをまず知りたい

というのが一つ。民間とは考え方が違う、ということでしたら、そういうふうにおっしゃっていただければ結構です。

それから二つ目は、市の定量的なパフォーマンスですが、提供していただいている財政力指数は県内5位ということで、非常に健全な街であるというふうに考えています。こういったところを見ると、全市の中で相当良い方なので、報酬もたくさんあげても良いのではないかというふうにも思えます。逆に少し調べてきましたが、人口増加率で言うと、子育てがうまくいく魅力ある市であれば、人が引っ越してきて人口も増え、子どもを産み育てるということで、これが非常に市としての大事なバロメーターだというふうに思いますが、若干人口が減少しているということを考えると、あまりそこは嬉しくないところです。市のパフォーマンスとしては、財政力指数の健全性では○、人口増加の成長性では△というような感じだというように理解していますが、そういったデジタルな数値的なパフォーマンスをどうやって反映するのか、しないのか。

最後に、今回もお示ししていただいておりますが、他市との比較や民間との比較、民間では連合さんの今回の春闘の結果だと5.25%の昇給率ですので、やはり世の中の相場が全体的に上がっているから普通で言えば上げなくては、こういう特別職の方々といえども気の毒だというふうに思いますので、5%ぐらいは上げて普通だったら良いのか。

この三つぐらいの判断基準が私にはあって、基本的考え方として設定するのかというふうに思うのですけれども、どういうふうにして特別職報酬を改定しようとお考えかというのを知りたいと思います。私の意見を最初に申し上げましたけれど、質問は、お考えを教えてほしいということです。

【人事課長】

いままでの経緯としては、人事院勧告で示された官民較差率を鑑み、社会情勢等も含めまして議論をしていただき報酬を設定しております。

委員が言われるように、市長等はマニフェストとか、そういった成果的な評価を受けることもありますが、なかなか他の自治体でも成果的な評価により給料を決めているという事例が見受けられなく、そういったことが非常に難しいというのも現実としてあるかとは思いますが、どのように数値化して給料に反映させるかというのが課題になってくるかとは現時点で思います。

県の方では指定職俸給表のパーセンテージに合わせて給料の引き上げを行おうと

しているという実態もありますが、そういったところも含めまして、また数字の方も具体的に例示していきたいと思いますので、それを参考に議論していただくという形になるかと思います。答えになっているか分かりませんが、安城市では現時点ではそういった決め方をしてきています。

【松永委員】

なかなか難しいからパフォーマンスというのはあまり評価の対象として考えていませんというお考えですかね。

【企画部長】

確かに、パフォーマンスということになりますと、首長のパフォーマンスということになりますが、なかなかミクロで見にくいところもありますし、我々は自治体ですので、マクロというか大枠で言えば、各自治体というのは住民福祉の向上ということで首長が責任を持って市政運営を行っていくということになります。ただ、個々の市によっても、やはりそれぞれ施策が違いますので、そういった意味で言いますと、私どもの総合計画があるかと思います。

その総合計画の進捗ですとか、そういったものについては審議会を持っておりまして、そこでご評価ご助言をいただいている中で言いますと、概ね審議会での意見としては順調に進んでいるのではないかという評価をいただいているということは、この場でご報告をさせていただきます。

【加藤委員】

市長さんは本当にがんばってみえるし、安城市の繁栄のためにがんばっていますが、今、物価高騰で本当に市民は食べ物とかいろんなものが高いです、苦しいです。私も年金生活になりましたけど、本当に苦しいんです。そういう中で市民の皆さんの社員とか、会社とかが給料を上げろということで一生懸命がんばっていますが、なかなか大きいところは上がりますが、本当に中小はなかなか上がらないじゃないですか。安城市でもそういう上がらないところもある、物価高騰で苦しんでいる、そういう中で、これだけ上げましたというんじゃないくて、苦しい中で上げましたというか、見越してというか、これから2年間ですかね。今苦しいのに、この後上げたりすると、「おいおい、市長さんすごいね」とならないかなと思ったりはするんですけど。その辺もあって、一般市民に分かりやすい、こういうことで上げていま

すというのでないと納得しないというか、一般市民は本当に苦しいんですよ。給料も上がらないのでパートさんも上がらないんですよ。そういう中でやっていて、市長さんはいいね、副市長さんはいいね、というのではなくて、そういう中でも安城市がすごくいろんな面で税制面や他のところで何か還元があつたりして皆さん市民が楽になりますよ、みたいなこともしてくださっているから上げています、みたいなふうにしていただけないかなというふうには思いますが、どうでしょうか。

【沓名会長】

市民の苦しい中での見方というのは、的を射ているような気がしますので、そういったのも考慮していかなければいけないと思います。そこで今、食べ物が非常に高騰してしまっていて大変なんですけど、上がる理由もございますので、組合長もお見えになりますがいかがでしょうか。

【渥美委員】

いま言われたとおり、農家の方も上がらないんですよ。5.3とか民間企業が言っている中で、農家の方々は費用が上がって、販売価格が据え置きですと逆に下がっていったしまうというのは、そういった事情もあって。我々も農家の方に何とか所得を上げていただくような取り組みを、農協としても考えてやっていますので、市としてもそういう姿勢で何かやっていただくと良いのかなということが、実現できるかできないかは分かりませんが、そういった考えを少し入れて、市民のためにこのようにやりますということが何かあると良いなというように思いました。

【加藤委員】

市民にプラスになるなら、上げたことで。市長さんの給料が上がって、市民も楽になるなら、大いにやってくださいという感じです。

【沓名会長】

その辺を市の方も考慮しながら、やはりそういった人たちの声というのも、市長としては選挙や立場において非常に大事な目線の一つだというように考えます。貴重なご意見ありがとうございます。それでは杉田さん、何かございましたら。いろいろご意見を聞いていた中で。

【杉田副会長】

私は、公務員の方にはたくさん給料を上げてもらって良いのではないかと、思っています。というのは、私の知り合いで市議会議員の方がおりまして、会社を途中で辞めて市議会議員になっています。上場企業に勤めていたんですけど、もちろん自分の好きで選んだ道ですから、ただ給料が減ることは良いんですけど、やはりこういう物価が上がってくると辛いと言っています。皆さんサラリーマンも一緒だとは思いますが。我々が育った高度経済成長のときは、過去の話をしてはいけませんが、毎年給料が何万と上がっていましたので、非常に良い思いをしましたけど、今の方は非常に苦しんでおられるということはよく分かるんです。だから、公務員の人には率先して私は上げてもらっても良い、特にこの財政力指数の良いときに。あまり極端に上げるというのはいけないんでしょうけども。前は2千円とかそんな上がっていましたが、あれではあまりに話にならないとも思います。やはり率先して公務員の方が上げていただいて、しっかり消費して税金を払ってもらって、国が良くなるようにしていただきたいと私は思っております。

【沓名会長】

そういうご意見もあるということで、いまからいろいろな資料を作るうえでの、ひとつの材料、意見として、結構かと思います。それでは、杉浦さんはいかがでしょう。

【杉浦委員】

私は民生委員という立場で、所得の低い方々と多く接しているほうなんです。ですから、やはり市民目線でという、加藤委員の言われたことというのは非常に重要なことだと思います。それから杉田さんの、やはり公務員というのは市民のために活躍しているのだからという、しかも、市長にしても議員さんにしても、永遠にその所得が入るわけではなくて、選挙に敗ればただの人になってしまうのです。だからこそ政治活動が本当に継続していただけるような、そういう給料が保証されるべきではないかと思います。私は民生委員という立場ですが、多くの民生委員さんもこういうことをやはり関心を持ってもらいたいということで、私も民生委員を代表して皆様に啓発していきたいと思っております。

【沓名会長】

ありがとうございました。それでは、藤岡さんはいかがでしょう。

【藤岡委員】

私も先ほどから伺っておりまして、皆さんがおっしゃられるように、納得というふうに聞いておりますので、加藤委員のご意見にも納得しますし、杉田委員の言葉も納得しまして、どちらといっても決めがたい。今の時点ではそんな感じでございます。

【沓名会長】

ありがとうございます。それでは、本山さんはいかがでしょう。

【本山委員】

私はPTAの方から、小中学校の代表で来させていただいてるので、加藤委員の言われたように私も今まだパートで働いているのですが、本当に20円とかしか今年度上がらなかったの、本当に物価は上がっていくし、本当に生活は厳しい中なので、そういういろんな委員の意見を聞いてそういういろいろな考え方もあるんだと、本当にこの会に参加させてもらって勉強になるなと、今日思いました。ありがとうございます。

【沓名会長】

ありがとうございます。私の方からも少し感じたところをお話しさせていただきますけども、いろいろ安城市にとっては、行政等の指数も非常に良い、そして、いろんな各市の、碧海5市なんかは結構順調にいろんな面で業績も良い。しかしながら、私が感じるのは、碧海5市あって、どここの市長よりも上でなければいけないとか、下でなければいけないとか、そういうふうに各市をライバル視するということがあまり良くない。あそこの市よりも、安城市が良くならなければいけないとか、あそこの市に負けてはいけないとか、そういうライバル視していくっていうことは、ある反面で相手を敵にしているという意識もその中に入ってしまうので、やはり地域、碧海5市で特に意識されるとは思いますが、ライバル視は止めていただいて、安城は安城らしさでもって、こういったことでよろしいんじゃないでしょうか。他のところが、他の市が仮に安城市には負けないぞとか、仮にそういう他の市から見たときにそういうふうな意識があったとしても、それは無視してい

くと。安城は安城らしさでやっていくというふうなことにしないと、どうしてもやはり碧海5市というのはまとまった地域で、トヨタの恩恵を受けて、非常に恵まれた地域だと思いますので、その中でいざこざみたいなことが、起きているわけではないけど、意識をもっと碧海は一つぐらいの気持ちで取り組んでいった方が良いのではないかというふうに思います。

よく碧海5市の人たちとの交流の中に入っていくと、渥美さんのJAもそうですけども、碧海5市を対象にして動いてみえるわけです。消防の関係も衣浦東部で一つになってやっているわけです。刈谷法人会も碧海5市で一つの動き方もしていますし、そういった面ではキャッチさんも碧海5市プラス西尾で、そういった形でやはり広域的な動き方をしている地域団体というのも非常にあって、そういう中で私は碧海5市というのは切っても切れないようなそういう存在でもありますし、昔は碧海郡ということでひとまとめだったわけですので、そういった中で、それがうまくまとまるには、私は今日の話とは少し違いますけども、碧海5市に環状線道路を作って、一つにまとめると、安城市は安城市の道路を作る、刈谷市は刈谷市の道路を作る、碧南は碧南で道路を作って、繋ぎがうまくいかないような無駄なことをしないで市をまとめて広域に話し合って、環状線道路を作ったら碧海5市が一緒になれるような形というものが出来上がってくるという話を、あるところでしたんです。そうしたら、刈谷のある人が「それをやったら、安城が良くなっちゃうじゃん。」こういう見方をされまして、私は本当驚くぐらい、他の人たちが安城に対して、ある意味でライバル視しているのかというふうなことを感じたり、そういったところを思っている中で、安城市があそこには負けたくない、ここには負けたくないという意識を持つと、それはあまりいい感情には進んでいかないし、亀裂も入るようなことにもなりかねませんので、こういう給料を一つ決めるにあたっても、安城は安城らしさをやはり追求して、他との連合のことももちろんあるにしても、ライバル心を起こすような、勝った負けるというふうな、そういった給料体系の決め方というのは、私はやめていただきたいというふうなことも思っておりますので。そういうことで、穏やかな形の安城を作っていくというふうで、何かお願いしたいなというふうに思います。私も話を最後にさせていただきましたけども、一つ他にこれだけはというご意見ございましたら。

【松永委員】

先ほど市民目線で生活が苦しいという話もだいぶ出たと思いますので、逆に市役

所さんの応援を一つしておきたいというふうに思います。私は最近リタイアしまして、時間ができたので市のいろんな高齢者向けの福祉にすごく恩恵をいただいています。現役時代は全然気づきませんでしたが、スポーツ系のプログラムも、シルバーカレッジとかも、安城市は非常に充実していると感じております。先ほど人口増加率の話がありましたけれど、やはり市の魅力を上げていって人口を増やすには、高齢者向けの福祉と、先ほど総合計画であった子育てが、多分2本柱になってくると思います。総合計画も2年目は順調に進捗しているというふうに伺いましたので、そちらの方をこれからがんばっていただければ、市の人口も増えていって、もっともっと魅力のある市になっていけるんじゃないかと非常に期待をしています。高齢者の立場からすると非常に良い街だということを付け加えてさせていただきたいと思います。

【杢名会長】

それでは本日は時間となりましたので、審議の方は以上とさせていただきます。今後の予定については、第2回目は答申案の検討を行い、第3回目に答申をしたいというふうに考えておりますので、よろしく願いしたいと思います。それではこれで閉会とさせていただきます。